

かほく市

元女らんとう堂山石塚群

がんによらんとうどうやまいしづかぐん

出土品：かほく市指定文化財（考古資料）

かほく市の^{がんによ}元女地区にあり、^{おおみがわ}大海川の左岸の丘陵上にある石塚群です。

標高 65～70mの南北方向の^{おねすじ}尾根筋に沿って7基の^き石塚群が一行に並んでいます。

石塚の直径は約 5m、高さは 60～90 cmです。塚の頂上には直径 10～50 cm程度の大小様々な大きさの^{かわらいし}河原石が積みまれています。河原石は近くの大^{おお}海川で採取したものを^つ用いています。残念ながら遺跡の詳しい性格は不明です。

展示品は3号塚と呼ばれる石塚から出土した^{すずやき}珠洲焼の^{かたぐちぼち}片口鉢と^{つぼ}壺で、^{かまくらじだい}鎌倉時代初期（約 800 年前）に現在の^{すずし}珠洲市周辺で焼かれたものです。



元女らんとう堂山石塚群の遠景



遺跡の位置図